

事務事業評価表 平成22年度

政策 明日につながる産業の振興  
 施策 就業環境の整備  
 基本事業 就業機会の確保

事業名 **緊急雇用創出事業 (地域安全設備調査等事業)**

[0945]

部名	生活環境部	事業開始年度	平成21年度	実施計画事業認定	非対象
課名	市民生活課	事業終了年度	平成21年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>失業者</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>地域安全設備等の現状把握</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>市内に設置された街路灯及び防犯灯、地域安全設備を現地調査する</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	人				7	
対象指標2						
活動指標1	基				12,136	
活動指標2	箇所				330	
成果指標1	基				12,218	
成果指標2	箇所				241	
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	3,027	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	830	0
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		千円	0	0	3,857	0

費用内訳	
21年度	委託料 3,027千円

# 事業を取り巻く環境変化

事業開始  
背景

事業を  
取り巻く  
環境変化

## 21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
妥当である  
妥当性が低い

理由  
・  
根拠は？

市内に設置されている街路灯やゾーン設置標識は、安全で安心な地域確保の上で必要なものであり、現状を把握し計画的に更新を行う必要がある。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
貢献度ふつう  
貢献度小さい  
基礎的事務事業

理由  
・  
根拠は？

市内全域の調査に6名、データベース作成に1名の雇用を創出した。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

あがっている  
どちらかといえばあがっている  
あがらない

理由  
・  
根拠は？

市内設備の状況をデータベース化することで、腐食や老朽化に伴う現況把握が容易になり、迅速に修理対応が出来るようになった。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
成果向上余地 中  
成果向上余地 小・なし

理由  
・  
根拠は？

既設の設置状況の調査・確認事業であるため、成果向上余地はない。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある  
ない

理由  
・  
根拠は？

雇用促進を目標に実施した事業であり、継続的に実施するものではない。